

危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(10)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) アルカリ金属の過酸化物は水との接触を避ける。【 】
- (2) 塩素酸カリウムのかかわる火災では霧状の水で消火する。【 】
- (3) 塩素酸カルシウムは酸と接触すると有害なガスを発生することがある。【 】
- (4) 過塩素酸ナトリウムは潮解性がある。【 】
- (5) 過酸化カリウムは白色の粉末である。【 】
- (6) 過酸化カルシウムは水によく溶ける。【 】
- (7) 亜塩素酸ナトリウムは常温でも分解し、特異な刺激臭がする。【 】
- (8) 硝酸アンモニウムは潮解性がある。【 】
- (9) ヨウ素酸カリウムは赤褐色の結晶である。【 】
- (10) 重クロム酸カリウムは加熱すると水素を発生する。【 】
- (11) 重クロム酸アンモニウムは水に溶ける。【 】
- (12) 過ヨウ素酸ナトリウムは加熱すると分解し、酸素を放出する。【 】
- (13) 三酸化クロムの比重は3より小さい。【 】
- (14) 次亜塩素酸カルシウムは常温で安定している。【 】
- (15) 次亜塩素酸カルシウムは加熱により分解し、水素を発生する。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(10)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) アルカリ金属の過酸化物は水との接触を避ける。 【○】
アルカリ金属の過酸化物は水と反応する。
- (2) 塩素酸カリウムのかかわる火災では霧状の水で消火する。 【○】
注水消火。噴霧する。
- (3) 塩素酸カルシウムは酸と接触すると有害なガスを発生することがある。 【○】
酸との接触で有害なガスが発生することがある。
- (4) 過塩素酸ナトリウムは潮解性がある。 【○】
潮解性がある。
- (5) 過酸化カリウムは白色の粉末である。 【×】
橙色の粉末である。
- (6) 過酸化カルシウムは水によく溶ける。 【×】
水に溶けにくい。
- (7) 亜塩素酸ナトリウムは常温でも分解し、特異な刺激臭がする。 【○】
常温でも分解する。
- (8) 硝酸アンモニウムは潮解性がある。 【○】
潮解性がある。
- (9) ヨウ素酸カリウムは赤褐色の結晶である。 【×】
白色または無色の結晶である。
- (10) 重クロム酸カリウムは加熱すると水素を発生する。 【×】
加熱すると酸素を発生する。
- (11) 重クロム酸アンモニウムは水に溶ける。 【○】
水に溶ける。
- (12) 過ヨウ素酸ナトリウムは加熱すると分解し、酸素を放出する。 【○】
加熱するとヨウ素酸ナトリウムと酸素に分解する。
- (13) 三酸化クロムの比重は3より小さい。 【○】
比重は2.7で3より小さい。
- (14) 次亜塩素酸カルシウムは常温で安定している。 【×】
常温でも不安定で、空気中に次亜塩素酸を遊離する。
- (15) 次亜塩素酸カルシウムは加熱により分解し、水素を発生する。 【×】
加熱により分解し、酸素を発生する。